

第3回学校運営協議会だより

日 時：令和6年2月15日（木） 午後3時15分～午後4時

場 所：本校1階 応接室

出席者：委員・事務局 全7名参加

1、校長より

- 令和6年度 学校経営方針についての説明
- 令和6年度 教育課程についての説明
- 保護者評価（12月実施）の集計結果のご報告

2、分掌主任より（教務・生活・プラス）

①教務主任より

- 令和5年度の教育課程の報告と令和6年度の教育課程についての説明
- 令和5年度の進路指導（総合・市民科を含む）の取り組みについての報告

②生活指導主任より

- 立川第六中学校の生活指導についての今年度の報告と来年度に向けての説明

③六中プラス主任より

- 令和5年度の六中プラスの報告

3、学校運営協議会委員の皆様より

- 保護司の講演で話をしていたが、最近は少年院等に入所する子どもが増えているらしい。オレオレ詐欺の受け子が多い。子どもの事故やトラブルのニュースも増えている気がする。子ども達への細やかな対応が必要である。
- 立川市中学生主張大会で六中生が教育長賞を取ったが、その内容が“「努力」は必ず報われる”という、最近あまり聞かない前向きな言葉が受賞しているのが良かった。
- 六中生はくったくのない笑顔で、明るく物おじしない子が多い。合唱コンクールや体育大会でもその力を発揮できているのではないか。
- 授業を見せてもらったが、日常からしっかり授業をしていることが伺えてとても良かった。
- 年間行事にある「立川シビックプライド」とは何か。⇒立川のことをクイズ等の問題にした、立川検定のようなもの。毎年1年生が実施している。
- 来年度の教育方針で、学校が追う責務は大きい。校長の示した教育課程にも「予想のできない事態に対応する力」について触れているが、マニュアル以外の行動を教えることが日本の公立学校では大切だと感じる。
- 1学期の中間考査がないことは、保護者から意見が今後あるかもしれないが、その都度丁寧に説明していけば大丈夫。テスト一発勝負ではなく、普段の授業での取り組みを大切にしていることを伝えていけば理解が得られると思う。